

新型コロナウイルスについて

新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大してきており、小規模の集団感染、小児でも感染がみられています。3月14日現在、県内での発生は報告されていませんが、今後発生する可能性もありますので、こまめな手洗いや基礎体力作りで予防していきたいですね。



(3月14日現在の情報のまとめ)

1. 症状

4日以上続く発熱（微熱や1日程度の発熱の場合もあります）、咳・くしゃみ・鼻水といった呼吸器症状、全身の倦怠感等といわれていますが、普通の風邪と区別はつかず、軽症の場合は症状がほとんど出ない場合もあります。

2. 潜伏期間

1~14日といわれています（多くは5~6日程度）

3. 感染経路

- 飛沫感染：咳やくしゃみを浴びる事でうつります（空気中にも数時間生存するという報告もあります）
- 接触感染：ウイルスが付着したものにふれ、体内に入ることです（ものに付着したウイルスは数時間から数日生存するといわれています）
- 糞口感染：感染者の便の中にもウイルスは残っているため、排便やおむつ交換後の手洗いが不十分であるとうつる可能性があります

4. 予防方法

アルコール、もしくは次亜塩素酸での消毒が効果があるとされています。また、基本的には手を介してうつりますので、こまめな手洗いが必要になります。症状がある場合はマスクの着用が必要になります。そして、定期的な換気も行いましょう。

5. 相談窓口

3月から医療機関でも検査ができるようになりましたが、肺炎が疑われる場合等検査ができるのが限定的な場合ですので、気になる場合にはまずは電話でかかりつけ医に電話で相談し、指示を仰いでください。

また、風邪症状が長引いたり、感染が疑われる人との接触がある場合には置賜保健所が引き続き窓口になっていますので、そちらにご相談の上、指示に従ってください。

置賜保健所 生活衛生課
TEL:0238-22-3002（24時間対応）



感染症情報（2月）

園内感染症罹患人数

2月は感染症の流行はありませんでした

病児保育延べ利用人数

溶連菌感染症	5名
水痘（水ぼうそう）	5名
RSウイルス感染症	2名
アデノウイルス感染症	1名
ノロウイルス感染症	3名



※ 置賜地域でインフルエンザ注意報、溶連菌感染症・水痘警報が出ておりノロウイルスの集団感染も発生しているため、ご注意ください。





知っておこう！アレルギー

春になり、気温が高くなってくると、花粉が多く飛散したり、ダニなどの活動も活発になることから、アレルギーが発症しやすくなります。下記のURLも参考に、体調の変化に注意していきましょう。

アレルギーのメカニズム

メカニズムについては、以下を参照ください。
(アレルギーについて)



(保育所におけるアレルギーガイドライン；厚生労働省)



子どもの場合、皮膚が乾燥していたり、肌荒れがあると皮膚のバリア機能が低下し、アレルギーとなる物質が入りやすくなりますので、スキンケアも心がけていきたいですね。

代表的なアレルゲ

- 食物（卵、そば等）
- ダニ・ハウスダスト
- 花粉（スギ、イネ、ブタクサ等）
- 動物



など

一般的な症状は？

- 呼吸器症状
→咳、くしゃみ、鼻水、胸のゼーゼー呼吸困難等
- 皮膚症状
→発疹、湿疹、かゆみ、皮膚の腫れ、目の充血等
- 消化器症状
→嘔吐、腹痛



対処方法は？

- ★ 皮膚症状（蕁麻疹や目のかゆみなど）が現れた時には、安静にして、症状の改善が見られない時は医療機関を受診する
- ★ 喉や顔が腫れたり、嘔吐を伴う場合、注意深く観察し、症状の悪化がみられた場合は、**至急医療機関を受診する**
- ★ **意識がもうろうとしたり顔面蒼白などの全身症状や、咳やかすれ声など呼吸器に症状が現れた場合は、救急車を呼び早急に医療機関を受診するとともに、安全な場所に横になるようにしてなるべく動かさないようにする**
- ★ 症状は早くても5分ほどで出現し、遅くとも24時間以内に出ることが多いため、様子を注意深く観察する

家庭でできるケア方法

アレルゲンを持ち込まない

1. 食べ物は子どもの手の届かない場所に保管する
2. ダニは、布団を乾燥させるか、布団用掃除機で掃除する
3. 花粉が付きにくい服装にして、家に入る前に払う
4. 動物はできるだけ屋外で飼う

アレルゲンを取り除く

1. アレルゲンの入っていない食事を作る
2. 細目に掃除をする（掃除の際、換気をするとう効果的）
3. うがいや、洗顔で口・鼻・目の花粉を取り除く
4. 動物に触れた場合は、石鹸で手を洗う

アレルギーを予防する

1. 手洗い、うがいを細目にする
2. スキンケアを行う
3. 医師の診断や段階に応じた除去食を作る
4. **早めの受診、薬で予防していく**
5. 薬物療法や食事制限などは、医師の指導のもとで実施していく
6. 早めの対応で、重症化することを防いでいく

アナフィラキシーショックの時

1. すぐに救急車を呼ぶ。
2. 安全な場所に寝かせ、衣服を緩め、足を少し上げた状態で、様子を観察する。
3. あらかじめ薬などが処方されている場合は、それを使用する

アナフィラキシーショックの症状

呼吸困難や意識の低下、激しい咳こみ、血圧の低下、繰り返す嘔吐、強い腹痛等全身性の症状が起こる事が多い